

第2次 多可町総合計画 [2017▶2026]

天 たかく 元気 ひろがる 美しいまち 多可
～人がたからのまち きらり輝くまち～



計画策定の背景と目的

「多可町人口ビジョン・総合戦略～きらり輝く プラチナ戦略～」(平成 27 (2015) 年策定) を踏まえつつ、人口減少・少子高齢化を重要課題と位置づけて、本町がこれからの 10 年間でめざすべきまちづくりの方向性と、その実現のための取組方針を明示することを目的として策定します。

- 平成 17(2005)年 旧中町、旧加美町、旧八千代町の 3 町が合併
- 平成 19(2007)年 第 1 次多可町総合計画 策定
- 平成 24(2012)年 第 1 次多可町総合計画後期基本計画 策定
- 平成 27(2015)年 「多可町人口ビジョン・総合戦略～きらり輝く プラチナ戦略～」策定
- 平成 29(2017)年 第 2 次多可町総合計画 策定

多可町総合計画とは

総合計画は、まちづくりの羅針盤となる計画

多可町総合計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の 3 階層で構成しています。
このうち、本計画書では、基本構想と基本計画を示しています。



計画期間

平成 29(2017)年度から平成 38(2026)年度までの 10 ケ年

平成 29 年度 (2017 年度)	平成 30 年度 (2018 年度)	平成 31 年度 (2019 年度)	平成 32 年度 (2020 年度)	平成 33 年度 (2021 年度)	平成 34 年度 (2022 年度)	平成 35 年度 (2023 年度)	平成 36 年度 (2024 年度)	平成 37 年度 (2025 年度)	平成 38 年度 (2026 年度)
基本構想 【目標年次：平成 38(2026)年】									
基本計画 【目標年次：平成 38(2026)年】									

※基本計画は平成 33(2021)年度に見直します。

まちづくりの基本理念

基本理念

天 たく 元気 ひろがる 美しいまち 多可

～人がたからのまち きらり輝くまち～

水と緑の恵みを得て、美しい農と林のまちをめざします。そして、ここに暮らす子どもから高齢者まで誰もが生きがいと満ち、笑顔で互いに大切にしながら、もっと住みやすく、もっと楽しいまちにしたいと願い、一人ひとりの元気と美しい心が空いっぱいひろがるまちをめざします。

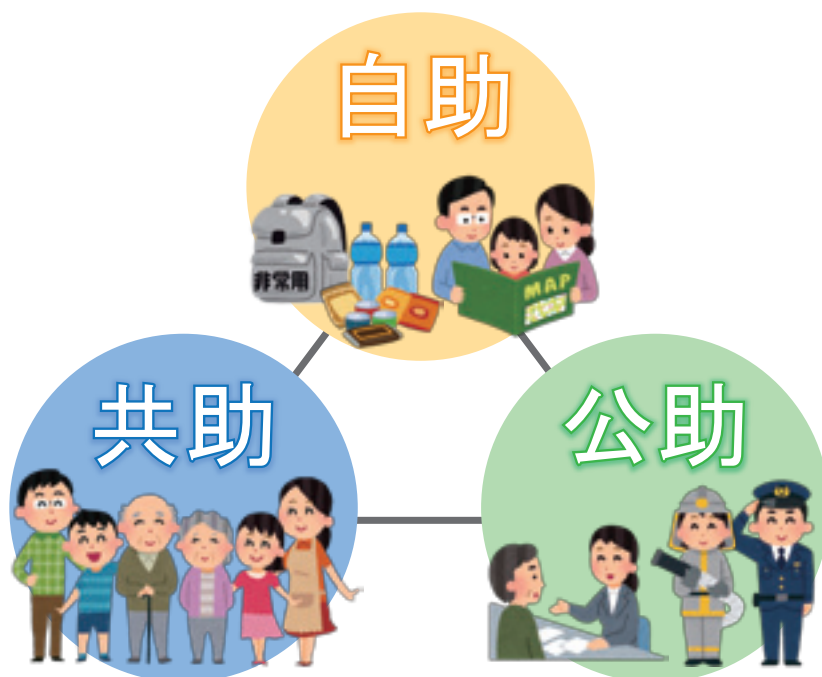
このようなまちをめざすなかで、私たちのまちの良さは地域コミュニティや地域の絆が強いところであり、将来にわたって「人がたからのまち」であることを大切にしていきます。さらに、小さくともきらりと輝き続けるまちでありたいという願いをもち続けていきます。

まちづくりの基本姿勢

基本姿勢

私たちのまちは 私たち一人ひとりが創る

- 自分たちでできることは自分たちです（自助）
 - 地域共同でできることは地域です（共助）
 - 行政は法律で定められた責務を果たしながら自助・共助を応援する（公助）
- 自助・共助・公助により、みんなで、私たちのまちを創ります。



まちづくりの基本目標 1

まちの誇り「水と緑」を守りつなぐまち

▶ 水と緑の保全

- 豊かな森林をまちの宝として森林の保全を推進します。
- ふるさとの原風景や自然景観の保全を推進します。
- 源流のまちとして、恵まれた自然環境を次世代に残し、住民の皆さんが安心して生活できるよう、きれいな水を未来へ渡していきます。

▶ 環境保全意識の向上

- 循環型社会の実現をめざすとともに、環境学習を啓発・推進し、生活環境の保全を推進します。多可町バイオマスタウン構想を推進し、地球環境の保全をめざします。

めざそう値の例

施策の達成状況を評価するための指標と数値目標を示す「めざそう値」を設定しています。
現状値は平成 27(2015)年度、目標値は平成 38(2026)年度を基準。

成果指標	現状値	目標値
森林整備面積	210ha / 年	250ha / 年
一人一日あたりのごみ排出量	636 g (※1)	600 g

(※1)平成 26 年度の実績値



まちづくりの基本目標 2

安全・安心・快適を実感できるまち

▶ 生活基盤の整備

- 安全・安心でおいしい水の供給と、災害時における安定的な水の供給をめざします。
- 汚水処理事業のより一層の効率化を進めます。
- 豊かな自然と観光・交流施設等、地域の特性に応じた調和や活力を生む土地利用を推進します。
- まちが有する地域資源を活用して、定住につながる地域基盤を構築します。

▶ 交通環境の整備

- 幹線道路網の整備及び未改良部分の改良整備を関係機関とともに推進します。
- 生活道路や橋梁整備の充実を促進し、安全で快適なまちをめざします。

めざそう値の例

成果指標	現状値	目標値
空き家バンク登録者の内の契約数	1 件	40 件
防災行動計画策定集落数	50 集落	62 集落

▶ 安全・安心のまちの形成

- 日頃から災害に備え、いざという時に落ち着いて行動できる防災意識の高いまちをつくります。
- 交通ルールとマナーを遵守した交通事故のない安全なまち、悪質な販売や消費者被害のないまちをめざします。



まちづくりの基本目標 3

働く場が充実し、地域の魅力が高まるまち

▶ 働く場の充実

- 企業誘致の推進等を通じて、あらゆる産業を振興し、就業・雇用の確保を図ります。
- 創業者を増やすとともに起業後の事業成長を促進します。

▶ 産業の振興

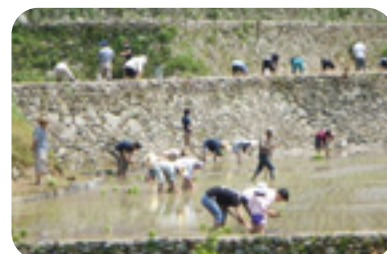
- 地域が一体となって地域資源を活用した個性豊かな「多可町ブランド」の確立を図り、地域の商工・農・林・畜産業の活性化をめざします。
- 特色ある農産物の生産や特産加工物の開発等により、収益のある農業の振興を図ります。
- 自然や景観・歴史・文化を大切にしながら、誰でも気軽に訪れ、また、何度でも行ってみたいと思える賑わいと活気のある観光のまちをつくります。

めざそう値の例

成果指標	現状値	目標値
創業・起業数	2名	40名
観光入込客数	115万人／年	126万人／年

▶ 定住・交流の促進

- 住みたい、住んでみたいと思えるまちをつくります。
- 本町の魅力を広く発信し、住みたいまちとして選ばれるよう移住希望者へ移住促進を図ります。
- 農業・農村の多面的な価値が発揮できる「都市農村交流」を推進します。



まちづくりの基本目標 4

地域主体で支え合い、助け合う健康で人にやさしいまち

▶ 健康づくりの推進

- 一人ひとりが自ら主体となって健康づくりや健康管理を行い、生涯にわたり健康な体と豊かな心で暮らせるまちをめざします。
- 心身ともに健やかで明るく活気のあるまちづくりの原動力として、食の安全確保を図ります。

▶ 地域主体の福祉の充実

- 「敬老の日発祥のまち」として、高齢者が住み慣れた地域で、いきいきと安心して生活を送ることができるまちをつくります。高齢者を地域ぐるみで支え合うまちをつくります。
- 障がいの有無にかかわらず町民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできるまちをめざします。

めざそう値の例

成果指標	現状値	目標値
特定健診受診率	38.6 %	60.0 %
町内医師数(人／人口10万人)	80.9人	81.0人

▶ 医療・社会保障の充実

- あらゆる年代の皆さんが安心して質の高い医療が受けられるまちをめざします。
- 国民健康保険(国保)や国民年金等の社会保障制度の安定運営により、病気やケガ、老後の生活の不安を軽減し、安心して生活ができる社会をめざします。



まちづくりの基本目標 5

子どもの元気な声があふれ、 生涯にわたり笑顔で暮らせるまち

子育て支援・教育環境の充実

- 子どもたちが、感性豊かに育つ教育・保育サービスを提供することで、保護者等が働きながらでも安心して子育てができるまちをつくります。
- 学校園・保護者・地域の人々が連携することにより、一人ひとりの子どもを伸ばし、夢をもって自らの進路を切り開き、子どもが楽しく学び成長を実感できる学校園をつくります。

生涯学習・スポーツの推進

- 生涯学習を通してあらゆる世代が互いに学び合い、教え合い、人がつながるまちをつくります。
- 住民の皆さんがいきいきと暮らせるよう、スポーツを通して健やかに暮らせるまちをつくります。

めざそう値の例

成果指標	現状値	目標値
病児・病後児保育利用者数	7人/年	50人/年
全国学力・学習状況調査(知識)正答率 80%以上の割合	42%	50%
全国学力・学習状況調査(知識)正答率 40%以下の割合	13%	10%

文化の継承

- 住民の皆さんが文化財や伝統文化にふれ、ふるさに誇りや愛着がもてるよう、歴史や文化を大切にするまちをつくります。



まちづくりの基本目標 6

協働による自主自立のまち

共生社会の形成

- 一人ひとりがお互いの違いを認め合い、尊重しあうことができ、思いやりあふれる人権尊重のまちをつくります。男女がともにいきいきと暮らせる男女共同参画社会の実現をめざします。

協働のまちづくりの推進

- 「自分たちでできることから始める」意識づくりや活動の支援に努め、地域コミュニティの活性化を推進します。
- 家庭や学校・地域社会において、若者が社会の一員として自らの役割と責任を自覚し、地域に貢献できるよう、若者の積極的なまちづくり参加を促進します。
- 情報の適切な維持管理体制を整え、誰もが安全・安心に情報を活用することができる体制をつくります。

めざそう値の例

成果指標	現状値	目標値
むらづくり協議会のリーダー数	64人	64人
実質公債費比率	15.3%	11.5%(※1)

(※1)平成 37 年度の目標値

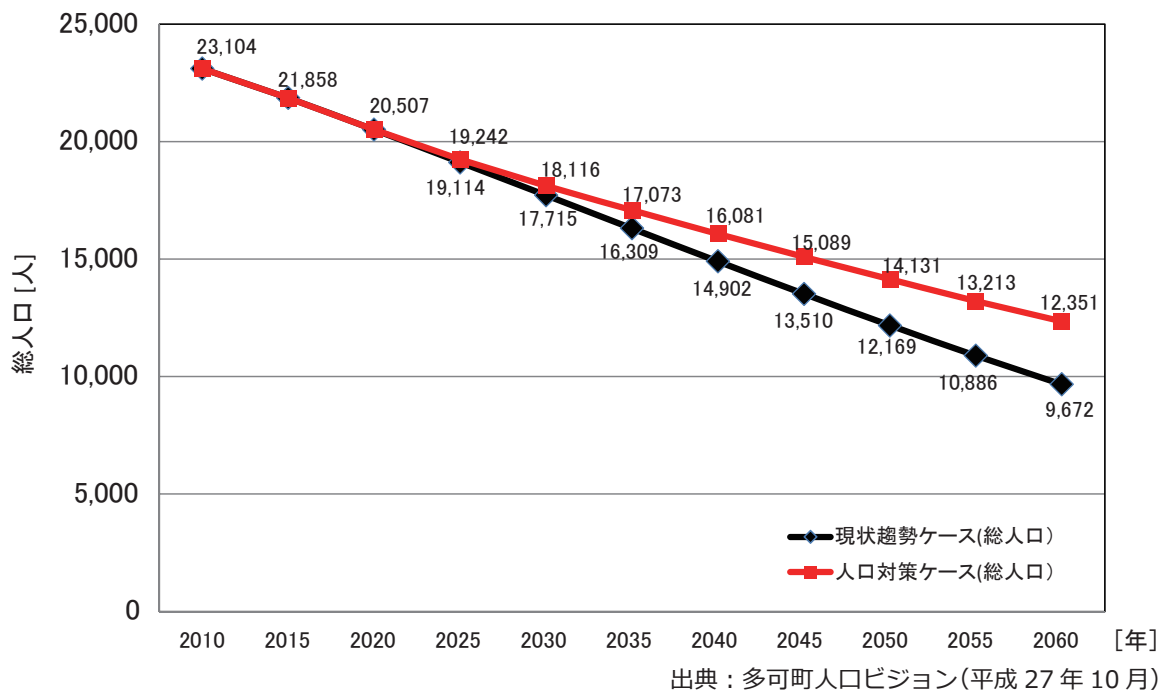
開かれた役場

- 持続性のある健全な行政経営をめざします。情報に対する保護対策の充実を図り、電子自治体の推進を図ります。
- 生活圏の拡大に伴う行政需要に対応するため、様々な分野にわたって広域行政・地域連携を推進します。



将来の目標人口

近年の社会減少(転出超過)及び自然減少(少子化)による人口減少が今後も続く^{すうせい}と仮定した現状趨勢ケース(黒線)の場合、平成 72(2060)年の人口は9,672 人まで減少し、高齢化率は49.8%まで上昇すると推計されます。そこで、積極的な転出抑制、転入促進、出生率回復等の施策を実行することで、同年人口を12,400 人に目標設定し、あわせて高齢化率を39.4%に抑制する人口対策ケース(赤線)をめざします。



まちづくりの重点プロジェクト

まちの重点課題である「人口減少」及び「少子高齢化」に対応していくため、重点的に取り組む施策として「重点プロジェクト」を設定し、基本計画のなかで展開します。

まちづくりの重点プロジェクト

人口減少に
負けない
まちづくり

高齢化の
進展にあわせた
まちづくり

働く場が充実し
活気あふれる
まちづくり

- ◆まちへの誇りや愛着の醸成による定住促進
- ◆まちの魅力発信による移住促進
- ◆出生率の向上

- ◆高齢者への快適な暮らしの提供
- ◆高齢者の活躍の場づくり
- ◆健康増進
- ◆高齢者との交流の推進

- ◆企業の誘致・規模拡大
- ◆創業・起業支援
- ◆多様なニーズに合った雇用の場の確保

第2次多可町総合計画の施策体系

基本目標	政策	施策
1 まちの誇り「水と緑」を 守りつなぐまち	1 水と緑の保全	1 森林環境の保全を推進する
		2 美しい田園景観の保全を推進する
	3 きれいな川を維持する	
	2 環境保全意識の 向上	4 環境意識の高いまちをめざす
2 安全・安心・快適を 実感できるまち	3 生活基盤の整備	5 おいしい水を安定して飲める環境を整備する
		6 下水道の適切な維持管理を図る
		7 安心して住み続けるための住環境をつくる
		8 まちの資源を活用し定住につながる地域基盤を構築する
	4 交通環境の整備	9 交流と経済を支える幹線道路を整備する
		10 快適な暮らしを実現する生活道路を整備する
	5 安全・安心のまち の形成	11 災害に強いまちづくりを推進する
		12 安全安心で暮らせるまちづくりを推進する
3 働く場が充実し、地域の 魅力が高まるまち	6 働く場の充実	13 生きがいをもって安心して働ける場の創出をめざす
		14 継続的な創業・起業を支援する
	7 産業の振興	15 商工・農・林・畜間の連携を図り、新たなブランドをつくる
		16 収益のある農業の振興を図る
		17 優れた地域資源を活用し、観光の振興を図る
	8 定住・交流の 促進	18 まちへの愛着を醸成し、定住促進を図る
		19 地域の魅力の発信を通してまちへの移住促進を図る
		20 地域間の交流を推進し、まちの賑わいをつくる
4 地域主体で支え合い、 助け合う健康で 人にやさしいまち	9 健康づくりの推進	21 住民主体の健康づくりを推進する
		22 食育をさらに推進する
	10 地域主体の 福祉の充実	23 健康でいきいきと暮らすことのできる高齢者福祉を推進する
		24 とともに生きる障がい者福祉を充実する
	11 医療・社会保障 の充実	25 安心できる地域医療体制を確保する
		26 安心して生活を送ることのできる社会保障制度を充実する
5 子どもの元気な声があふれ、生涯にわたり 笑顔で暮らせるまち	12 子育て支援・ 教育環境の充実	27 子育て世代への支援を推進する
		28 家庭・地域とともに個性ある学校園をつくる
	13 生涯学習・ スポーツの推進	29 生涯を通して、学び、教え合う生涯学習を推進する
		30 健康で生きがいのある生涯スポーツを推進する
	14 文化の継承	31 文化と伝統に息づいたまちをつくる
6 協働による 自主自立のまち	15 共生社会の形成	32 人権尊重のまちをつくる
	16 協働のまちづくり の推進	33 住民主体の協働のまちづくりを推進する
		34 若者が主体的に活躍できるまちづくりを推進する
		35 まちづくりに必要な情報の共有体制を充実する
	17 開かれた役場	36 効率的・効果的な行政経営を推進する
		37 効果的な広域連携を推進する